

第54回海外日系人大会 大会宣言

私たち海外各地および在日の日系人代表・有志は、平成25(2013)年10月29日～31日の3日間にわたり、東京で開催した第54回海外日系人大会で、「多極化時代に生きる日系社会と日本一持続的成長に向けた連携」を総合テーマとし、以下の三つの分科会で討議しました。

第1 海外日系社会と日本

第2 在日日系人

第3 日系ユース

分科会および全体会議の結果、次の8項目を決議したことを、大会の名で宣言します。

決 議

1. 私たち日系社会は日本との連携を深め、ともに成長が持続するよう努めます

グローバル化とともに政治、経済の多極化が進む世界にあって、日本と海外の日系社会がともに発展していくためには、さらなる連携と互惠関係の強化が欠かせません。日本文化の継承と普及をはかることは、双方の持続的成長につながるものと考えます。日本が海外に向け再び大きく動き始めたいま、長い年月をかけて、つちかってきた日系社会の人的資源に目を向けネットワークを再形成することが必要です。なかでも日本企業の前向きの行動を求めます。

2. 日本文化の普及に、日本政府の一層の努力を期待します

私たちは居住国で日本文化の発信・普及に努めています。次の世代に日本文化や日本語を継承していくことは日系社会の課題です。日本政府の成長戦略でうたわれた「クールジャパン」で示されている日本文化の普及による付加価値の創造や市場拡大は、同様の課題に取り組んでいる日系社会の利益と一致します。日本政府の施策の一層の推進に期待します。

3. 地方自治体の、海外への広報活動を一段と積極的に

海外に住む私たちは、これまで長い間各地で日本にかかわるイベントを開催してきました。これらは日本政府や都道府県など地方自治体が広報を展開する絶好の場となっています。ロサンゼルス市の「二世ウイーク」はすでに73回も開かれ、サンパウロ市の「フェスティバル・ド・ジャポン」は毎年20万人の人出で賑わいます。ほかの国でも地域社会を巻き込んだ催しに発展しているものが多数あります。このようなイベントに対し、日本の地方自治体が積極的に参加し、支援することは、相互の国際交流を活発にし、日本を訪れる観光客を増やすことにつながります。日本政府、地方自治体が日系社会を通じ広報活動を一段と積極的に展開することを期待します。

4. 出稼ぎから日本社会への統合と第二世代の社会進出に期待します

日系人の日本への「出稼ぎ」の時代は過ぎ、いまや日本社会への「統合」が進み、日本生まれや幼少で来日した子弟が社会進出する時代を迎えています。これら第二世代は、バイリンガル、バイカルチュラルに育ちうる希有な人材であり、各国と日本および進出日系企業との橋渡し役を担う人たちに成長する可能性を秘めています。移住先各国の文化を背景に持つ日系人を、日本に受け入れることは、日本文化をより豊かにし、日本の国際化に寄与すると確信

します。在日日系第二世代の成長を支援し、健全な社会進出への道筋をつけられるよう、日本政府の支援施策を期待します。政府の日系人帰国者支援事業の適用を受けて帰国した日系人の再入国については、条件付きながら本年10月15日から認められたことを評価します。

5. 日系ユースは人的ネットワークの先端を担います

私たち日系ユースは、日本文化をより深く体験し、将来の日本との交流の最前線に立ち、人的ネットワークの先端を担いたいと考えています。大会で論じられた「グローバル人材としての可能性」と「在日日系第二世代の挑戦」は大いに参考となりました。日系ユース部会に参加したメンバーの多くは留学生、研修生です。今後、バイリンガル、バイカルチュラルな社会人に成長し、国際社会の様々な分野で活躍できるよう努力します。私たちの新しい発想を活かせる場を母国および日本に期待します。

6. 日本政府の国籍喪失規定をなくし、重国籍を認めるよう求めます

外国籍を取得した一世にとって、「日本国民は、自己の志望によって外国の国籍を取得したときは、日本の国籍を失う」という日本国籍喪失規定は、日本人としての意識の共同体の一員であり続けたいと願う私たちを切り捨てるものです。居住国に帰化したとはいえ、これら一世は、日本人としてのアイデンティティーを決して失なうことはありません。私たちは、日本国籍喪失規定をなくし、重国籍を認めるよう日本政府の理解を求めます。

7. 一世の「日本里帰り事業」を、日本政府が継続するよう検討を

「ブラジル移住者里帰り訪日使節団」が本年4月、8年ぶりに来日しました。移住後一度も日本に帰国したことがない一世20人を海外日系人協会が招いて大きな成果を上げました。この事業は、資金を提供された一日本人のご厚意によって実現したものです。今後は、日本政府によってこの事業が継続されるよう検討を求めます。

8. 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を支援します

私たちは、元気な日本再生と発展を願って、東京オリンピック・パラリンピックの開催が実現するよう応援のメッセージを、今年の大会宣言に盛り込みました。東京招致が決定したことを日本国民とともに喜び、今後、居住国国民にアピールして一人でも多くの人が日本を訪れるよう、東京開催の盛り上げに努め、支援していきます。